

FIS スキージャンプコンチネンタルカップ男子ルール 2019/2020

凡例： COCJ-M=コンチネンタルカップスキージャンプ(男子)

1. 大会地のカレンダー計画、エントリー、指名

1.1 コンチネンタルカップスキージャンプ

1.1.1 各スキー連盟は、決められた期限内にカレンダー計画小委員会へ COCJ-M 大会(個人戦)の申請をする権利を有する。

1.1.2 大会の申請は、大会の2年前に公式の FIS エントリー用紙で行なわれなければならない。

1.1.3 同日に COCJ-M 大会 1 試合のみを開催することが出来る。

1.1.4 各シーズン最後の COCJ-M 大会が、COCJ-M ファイナルとして行なわれる。COCJ-M ファイナルと関連して、COCJ-M 総合表彰式が行なわれる。

1.2 COCJ-M 大会地の指名

1.2.1 カレンダー計画小委員会は以下を検討する。

- 有効なジャンプ台公認証を有し、COCJ-M 大会として当該ジャンプ台が適しているか。
- 宿泊能力及び競技場の観客アピール度。
- 競技組織の基準。

1.2.2 この評価結果と提案日程により、カレンダー計画小委員会は今後2年間の暫定 COCJ-M 大会スケジュールを作成する。現シーズンの最終的な COCJ-M 大会カレンダーは、FIS 理事会の承認が必要である。

2. COCJ-M 大会参加権利

2.1 FIS コード所有選手のみエントリーすることを認める。

各国スキー連盟は、自国選手の COCJ-M 大会出場選手としての適性及び使用ジャンプ台を扱う能力に対し全ての責任を持つ。

2.2 参加が認められる選手

- a) **2003, 2004** 年又はそれ以前に生まれた選手
- b) 既に WC, GP, COCJ-M ポイントを獲得している選手。
- c) 昨シーズン又は現シーズンで最低1点でも FIS カップポイントを獲得した選手。

2.3 各国スキー連盟の参加人数

参加人数は、ピリオドごとに以下に従い計算される。

- コンチネンタルランキングリスト (CRL)、2.4条参照
- 現在のFISカップ-Mピリオドのスタンディング

計算の基本は以下の通り。

- CRL 上位 50 選手(一か国最大選手 6 名)
- 各 FIS カップ-Mピリオドの上位 3 名
- しかしながら、一か国の最大ネーションクォータは選手 7 名に制限する。
- ネーションクォータが 3 名未満又はゼロの国は、最大 3 名までエントリーする権利を有する。
- ホスト国は、ナショナルグループ 6 名 (グループ 1) を追加としてエントリーする権利を有する。
- ホスト国の最大スタート人数は 13 名となり、その他の国は最大 7 名までとする。
- 1 カ国において 2 試合を超える COCJ-M 大会が行なわれる場合、ホスト国はナショナルグループをシリーズごと(サマーCOCJ-M 又はウインターCOCJ-M)最大 2 試合までエントリーする権利を有する。合計で 4 試合以内とする

2.4 コンチネンタルランキングリスト (CRL)

クォータ計算は、コンチネンタルカップランキングリストに従い行なわれ、下記基準に沿ってなされる。

- ポイントシステムは、現行の COCJ-M スタンディングと同様とする。
(1 位 100 点、30 位 1 点)
- 前 COCJ-M シーズンの 7 つのピリオド (冬 5 ピリオド、夏 2 ピリオド) の競技結果は、現 COCJ-M シーズンの 7 ピリオドの競技結果により徐々に取って代わっていく。
- この更更新手順は、各ピリオド後繰り返される。
- CRL の上位 50 選手がクォータ計算に考慮される。
- ネーションクォータは、続くそのピリオド内で有効であり、現行競技結果に影響されない。

2.5 COCJ-M ピリオド

第 1 ピリオド:	2019.07.06	-	2019.08.17	クラニ(SLO) ~ フレンシュタット (GZE)
第 2 ピリオド:	2019.08.31	-	2019.09.29	ラスノフ (ROU) ~ クリゲンタール (GER)
第 3 ピリオド:	2019.12.07	-	2019.12.15	ヴァイクスト (NOR) ~ ルカ (FIN)
第 4 ピリオド:	2019.12.27	-	2020.01.04	エンゲルベルグ (SUI) ~ ティティシーノシュタット (GER)
第 5 ピリオド:	2020.01.11	-	2020.02.09	ビショフホーフェン (AUT) ~ プロターオーデ (GER)
第 6 ピリオド:	2020.02.15	-	2020.03.01	アイアンマウンテン (USA) ~ レナ (NOR)
第 7 ピリオド:	2020.03.07	-	2020.03.22	ラハティ (FIN) ~ チャイコフスキー (RUS)

3. COCJ-M 評価

3-1 個人戦

1 位=100 点	16 位=15 点
2 位= 80 点	17 位=14 点
3 位= 60 点	18 位=13 点
4 位= 50 点	19 位=12 点
5 位= 45 点	20 位=11 点
6 位= 40 点	21 位=10 点
7 位= 36 点	22 位= 9 点
8 位= 32 点	23 位= 8 点
9 位= 29 点	24 位= 7 点
10 位= 26 点	25 位= 6 点
11 位= 24 点	26 位= 5 点
12 位= 22 点	27 位= 4 点
13 位= 20 点	28 位= 3 点
14 位= 18 点	29 位= 2 点
15 位= 16 点	30 位= 1 点

3.1.1 同得点者が複数の場合、各選手には、その順位に応じるポイントが与えられる（次の順位は省略される。）

3.1.2 COCJ-M 評価（ポイント対象）の大会とみなされる為には、最低 8 カ国が参加しなければならない。

3.1.3 コンチネンタルカップスタンディング

現シーズンの全個人戦での COCJ-M ポイントは、COCJ-M 総合優勝者を決めるにあたりサマーと冬で分けられ合計される。

COCJ-M スタンディングで複数が同得点であれば、各大会の良い順位がランキングを決める為に使われる。それでも同順位であれば、スタート順は抽選となる。

4. 競技方法及びスタート順

COCJ-M 大会は、ICR452 条（個人戦及び団体戦）に従い、以下の項目も含め実行されなければならない。

4.1 個人戦において、選手を 3 つのグループに分ける。グループの順番は以下とする。

- グループ 1 ホスト国
- グループ 2 （COCJ-M ポイントがない選手）
- グループ 3 （COCJ-M ポイントがある選手）

グループ内のスタート順は以下とする。

- グループ 1 ドロー又はシード
- グループ 2 ドロー
- グループ 3 現在の COCJ-M スタンディングの逆順。COC-M スタンディングに入り次第、ランキングに沿ってグループ 3 にシードされる。そのシーズンの最初の大会は、昨シーズンの最終 COCJ-M スタンディングにより決めら

れる。

- 4.2 2本目（最終ラウンド）において、1本目の上位30人のみが2本目に進める（プラス最終予選通過順位同点者）。選手は1本目と同じゼッケンを着用し、1本目の獲得得点の逆順でスタートする。

最長不倒の95%に達し予選通過すべきところ転倒した選手は、上位30人に加えて競技に参加する権利がある（ウインド/ゲート補正が使用される場合、補正された距離が基本となる）。

- 4.3 2本目は、1本目終了後20分以内で始めなければならない。時間通りにスタート出来ない選手は、失格となる。

5. COCJ-M 賞

- 5.1 COCJ-M 総合優勝者は、サマーと冬で分けられ、コンチネンタルカップトロフィーをもらう。

上位3選手にFISメダルを与える。

上記のトロフィー、メダルは、FISが用意する。

コンチネンタルカップトロフィー及びメダルは、ファイナル（最終戦）でのみ授与される。

6. COCJ-M 費用の支払い

- 6.1 各COCJ-M オーガナイザーは、下記に従い参加国に以下の費用を負担しなければならない。

- 全てのエントリー選手（ナショナルグループは除く）
- 一カ国につき役員2名

6.1.1 宿泊

大会期間中すなわち最初の公式練習の前日から最終競技日の翌日まで、上質のホテルで部屋と3食を提供する。招待状及びインフォメーションパックが、組織委員会から各スキー連盟に送られなければならない。参加チームは、表記された期限までに参加選手をエントリーしなければならない。それによりそれぞれが望む部屋数の予約が確実となる。

予約した部屋を使用しなかった場合、組織委員会は、そのスキー連盟に対しキャンセル料金を請求する権利をもつ。

組織委員会又はホテルマネージャーは、チームキャプテンの同意なしに、大会日に部屋を明け渡すことを要求することは認められない。

6.1.2 輸送

組織委員会は宿泊先と競技会場間のシャトルサービス（定期往復便）を提供し継承しなければならない。

6.2 TD、TD アシスタント及び外国人飛型審判への旅費、宿泊費の支払いは、ICR405.4 条に従って支払われなければならない。

7. COCJ-M スポンサー

FIS は、コンチネンタルカップスポンサーのスポンサー権に対して FIS とスポンサー会社／代理店との間で契約を結ぶ事が出来る。

8. COCJ-M コントロール及びレポート

8.1 各 COCJ-M オーガナイザーは、シーズン前に自国のプレス通信社と連絡をとり、大会終了後直ちにそのプレスが、結果表又は最低でも COCJ-M ランキングリストを配信することを、確認しなければならない。

8.2 国際スキージャーナリスト連盟（AIPS）及び国際スキー連盟の推奨とガイドラインに従い、プレス・メディアサービスを組織し、実施しなければならない。

8.3 TD は、COCJ-M 大会をコントロール（統制）し、レポートする責任がある。結果表を含め FIS オフィスに文書でレポートを大会地から急送しなければならない。

8.4 各 COCJ-M 大会後、COCJ-M コーディネーターは、COCJ 総合評価の新しい順位表を計算する責任があり、競技終了後直ちに、それを次の COCJ-M オーガナイザー及び FIS オフィスに送らなければならない。

8.5 コントロール

FIS は COCJ-M コーディネーターを指名し、同コーディネーターはジャンプ TD ライセンスを所有していなければならない（ICR403.5 条）。

同コーディネーターはジャンプレースディレクターに報告する。

各オーガナイザーは、同コーディネーターの宿泊費、食費、旅費を支払わなければならない。

賞金：1,500 スイスフラン	上位 6 選手で配分
-----------------	------------